

介護の専門家による
お役立ち情報

いきいき 介護

vol
7

今回の
テーマ

「栄養+リハビリプログラム」

草津ケアセンターでは、在宅生活で必要となる動作を想定した個別リハビリや生活リハビリを行っています。身体機能・生活機能の維持や向上を目指し、利用者さんの生活をさまざまな専門職が支えています。

ご自宅での運動・リハビリを考えたプログラムを

近年、フレイル予防・改善として栄養とリハビリのセット対応が注目されています。要介護の方の廃用症候群も同様です。

草津ケアセンターでは、栄養管理と摂食動作を含めた運動・リハビリを重点的に提供しています。また、退所前にはご家族への栄養指導や介護指導、ご自宅での運動を一緒に考えさせて頂きます。

草津ケアセンターで取り組んでいる5つのプログラム

- 1 栄養+リハビリプログラム 今回は①を紹介します。
- 2 装具制作・修理プログラム
- 3 ポリファーマシーに対する薬剤整理プログラム
- 4 血圧・血糖・飲薬プログラム
- 5 インターバルケアプログラム



当施設の強み

NST (栄養サポートチーム)

NSTは利用者さんに最良の栄養療法を提供するために、多職種で構成されたチームです。隔週火曜日にミーティングを行っています。食事によって低栄養状態の方の栄養改善や褥瘡改善、嚥下機能維持向上を目指しています。

NSTへの参加職種

- 医師
- 管理栄養士
- 言語聴覚士
- 看護師
- 介護福祉士
- 理学療法士

フレイルとは…

フレイルとは、健康と要介護の中間にある状態のことです。高齢者の多くは急に要介護状態になるのではなく、徐々に身体的機能や認知機能が低下すると考えられています。その過程にある段階を「フレイル」と呼びます。



管理栄養士による 食事摂取状況の確認



定期的に、各利用者さんの食事摂取状況を観察します。

摂食嚥下や摂取量、食思不振、体力等により、食事内容(食形態、食事量を含む)とともに食事にかかる時間についても調整をはかります。同時に、言語聴覚士による嚥下評価や歯科受診の必要性、自具やボジションングの検討が必要かどうかを確認しています。提供する食事や水分については、少しでも栄養を摂取してもらえよう、嗜好面に配慮した個別対応や栄養補助食品の活用等を実施しています。

言語聴覚士による リハビリ



食事の際、言語聴覚士による嚥下状態の評価を行います。

嚥下機能検査とは

反復唾液嚥下テスト、水飲みテストを含むフードテスト、頸部聴診法、喉頭挙上の触診

理学療法士と相談し、摂食嚥下し易いよう、姿勢を調整します。車イスやサポートクッションの選定、テーブルの高さ調整等を行います。また、作業療法士と協力し、スプーン等の自具の選定も行います。簡単な嚥下機能検査や食事観察で、嚥下評価を行います。評価に基づき、多職種で食形態等を検討していきます。

歯科衛生士による 口腔衛生管理



お口の機能を保つために口腔ケアをしましょう。

口腔衛生状態とさまざまな全身疾患が深く関わり合いを持つことが明らかになりつつあり、口腔ケアが健康寿命を延ばすカギとして注目されてきています。以前は看護師・介護士が行っていた口腔ケアを、今年度からは淡海医療センターの歯科衛生士も加わって実施します。専門職による口腔衛生管理の充実を図っていきます。

管理栄養士による 栄養指導



NSTアセスメントシート
の判定結果をもとに、
管理栄養士がご家族やケ
アマネジャーに栄養指導
を行います。



空床状況・入所のお問合せなどお気軽にご相談ください。

社会医療法人 誠光会 介護老人保健施設
草津ケアセンター 相談課
〒525-0027 滋賀県草津市野村2丁目13-13
TEL.077-567-1122 FAX.077-567-2085



今後、5つの
プログラムを
シリーズにて
お届けします

草津ケアセンターでは、利用者さんがより快適に過ごしていただけるよう多職種が協働して支えています。